

# 会 議 録

- 1 会 議 名 令和3年第23回(12月)上越市選挙管理委員会臨時会
- 2 開催日時 令和3年12月10日(金)午後2時~午後3時
- 3 開催場所 上越市役所 木田第2庁舎 4階 401会議室
- 4 出席した者の氏名  
池田明委員長、小関信夫委員長職務代理者、西山耕一委員、熊田和子委員  
事務局：渡邊事務局長、笠松係長
- 5 開会
- 6 協議事項  
協議1 10月31日執行の上越市長選挙における確認団体によるビラ頒布等事案の検証について  
事務局説明のとおり承認  
【主な発言内容】  
池田委員長)・第三者的に報告書をまとめていただいた。  
・分からないときは県に聞くなどしていき、そういう方向にもっていかないと同じ事が起こる。  
・確認団体に関する事務など分からないものは、情報が入った時点で県に指導を受けるなど、事前の準備が必要。  
西山委員)・異動があった場合はマニュアルを改めてチェックする、お互いの業務をお互いにチェックする、担当外も情報を共有するといった体制が必要。  
池田委員長)・隣の職員が何をしているのかぐらいは分かっておく必要がある。  
西山委員)・事務局4人それぞれ担当業務があると思うが、4人とも全てを知っているようにならないと人任せになってしまう。一人一人がプロ意識をもって、その中で判断ミスを防ぐチェック体制を作ってほしい。  
池田委員長)・内部で情報共有する、互いにチェックする、決裁を取るというようなことが必要ではないか。また、しおりについても、イラストなどを使って分かりやすくしたり、チェック表を活用することも必要ではないか。

小関職務代理者)

- ・前の選挙でも確認団体の申請があったと思うが、その頃から職員も代わっている。今回の件については、しおりにも書いてあった内容であり、きちんとチェックしていれば起こらないはずである。4人で分業しているとはいえ、久しぶりの業務ならチェックが必要である。

西山委員) ・4人ともプロとなる中で、チェック体制をきちんととっていけば防げるのではないか。

熊田委員) ・5票であったとか、国の動きが急だったとかの理由があるとはいえ、基本の「キ」を徹底できていなかった。組織の風通しを良くし、隣の人が何をやっているかを知る、これからはミスの無いよう進めてほしい。

小関職務代理者)

- ・確認団体については、陣営にも知識のある人がいるわけであり、選管事務局だけの責任とするのは個人的にはどうかと思う。このままでは“やり得”となってしまう。

池田委員長) ・7の内容については、人事部局と協議してほしい。

協議2 令和3年度明るい選挙啓発ポスター・標語コンクール入賞者表彰式について

異議なく事務局説明のとおり承認

## 7 報告事項

報告1 令和3年第4回(12月)上越市議会定例会における一般質問について  
質疑なく事務局説明のとおり承認

報告2 専決処分した内容について  
質疑なく事務局説明のとおり承認

## 8 傍聴人の数 0人(報道6社)